

# あ と が き

山梨大学医学部附属病院

開院30周年記念事業企画推進委員会 副委員長

藤 井 秀 樹

大きな期待と希望が込められた2年後の新病棟完成を控え、平成25年秋、山梨大学医学部附属病院は開院30周年を迎えました。これまでの30年間の歩みをふり返り、記録に残し、これからの附属病院の新たな歴史につなげるために、30周年記念誌を発刊いたしました。

山梨大学医学部附属病院において記念誌が発刊されるのは開院以来初めてのことです。これまでの30年の間には様々な出来事があり、山梨大学医学部附属病院を取り巻く政治的、社会的環境も、また附属病院自体も大きく変容してきました。

山梨医科大学と旧山梨大学との統合、国立大学法人化、附属病院再整備計画と、ダイナミックな変化を経験すると同時に、まだ記憶に新しい、そして、いまだ復旧のめどが立たない東日本大震災の発生など、既成概念を大きく揺らぐ事象も相次ぎました。

そのような激変する環境の中でも、山梨大学医学部附属病院は冷静に状況を見極め、職員が一体となって、常に的確に対応し先へと進む道筋をたてて挑戦し続けてきました。それらの記録や記憶が、この記念誌には山梨大学医学部附属病院とともに歩んでこられた、また、今まさにともに歩んでおられる多くの方々の視点から綴られています。

さらに、この記念誌には、開院前の黎明期から草創期にご活躍になられた皆様の大変な努力の軌跡や変遷とともに、いまや本邦でもトップクラスの実力を有する附属病院であるという事実、さらには、未来への挑戦と更なる高みを目指す強い意志が随所に散りばめられています。

この記念誌を手にとられた皆様には、山梨大学医学部附属病院の30年間という長く、重い歴史に思いを馳せていただくとともに、附属病院の未来に大きな可能性と夢を確信していただければ幸いです。

最後になりましたが、本誌発刊にあたり、寄稿いただきました皆様、作成・編集にご協力いただきました病院職員の皆様に深く感謝申し上げます。

---

## 山梨大学医学部附属病院開院30周年記念誌

---

平成25年10月25日発行

発行 山梨大学医学部附属病院  
〒409-3898  
山梨県中央市下河東1110  
TEL (055)273-1111 (代表)

---





## 山梨医科大学のシンボルマーク

「山梨からみた風景として、山並みと川を感じさせている。川状の3本の線は自由、情熱、清廉を表し、山梨にとってのアイデンティティである富士山をオリジナリティを出すためにストライプのグラデーションで表し、その廻りを大学名で囲んでいる。」

このマークは、立教大学助教授(当時)・造形作家の富安敬二氏によりデザインされ、平成6年から平成14年の大学統合までの間、山梨医科大学のシンボルマークとして親しまれました。